

# 子育てサロン型＋在宅取組型（保育園）

学校名等	可児市 めぐみ保育園
実施日時	平成28年5月19日 10:30～12:00
会場	めぐみ保育園 大ホール
参加人数	30人
学習課題（分野）	自信は次のチャレンジ心を育てる？
運営者の願い	子どもが新しいことにチャレンジしようとした時、親としてどのような言葉かけや態度がよいのかを保護者同士で交流し、そのヒントを持ち帰って、親子で話し合う時間を大切にしたいと願って企画した。

## 学習の内容

### <取組内容>

開級式に、これから一緒に学ぶ仲間とサロン型で、“子どもがチャレンジしていること”について話をし、褒めることの大切さについてみんなで学んだ。その後、家庭に家庭教育プログラム「みんなで子育てⅡ」「チャレンジ心」を持ち帰り、家族でめあてを決めて取り組んだ。

その取組用紙を回収し、家庭での取組を振り返った。

### <実施の流れ>

- ① アイスブレイクで緊張をほぐして話しやすい雰囲気を作る。
- ② 「子どもたちが今チャレンジしていること」についてグルーptークをする。
- ③ 宅取組型で各家庭のめあてを決め、プログラム「チャレンジ心」につなげた。  
…記録カード※1
- ④ 記入した用紙と実践した感想アンケートを回収。…アンケート※2
- ⑤ 通信で在宅取組の報告。…報告のおたより※3

### <取組ポイント>

- ・開級式にサロン型を取り入れて皆で話をすることで、今後、学級生同士が話をしやすい雰囲気作りをねらっている。
- ・グループで、子どもたちがチャレンジしていることを出し合って、それを認める。保護者は褒めるタネをたくさん蒔くことが大切だと学んだ。
- ・褒めることの大切さを学んでから、在宅で「めあて」を決めて取り組んだ。

### <参加者の感想 >

#### ○サロンに参加して

- ・みんなで意見交換し、様々な考え方を知ることができて勉強になった。
- ・普段あまり関わらない人たちと話ができて楽しかった。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、話を聞き、共感することが大切だということが心に響いた。
- ・親同士のかかわりが深まった。

#### ○在宅取組を実施して

- ・めあてについて、毎日「今日はどうだった」と、自分だけでなくお互いに家族の様子を見たり、話をしたりすることができた。
- ・目標の達成感を味わえた。
- ・子どもを通して、お互い頑張っている姿を見て声をかけたりすることができてよかった。
- ・何かにチャレンジすることは労力が必要で、それを継続することは、なかなか難しいことなので、できて当たり前ではなく、ちょっとしたことでも褒めるようになった。



働く保護者が子どもを預けている保育園のため、保育参観に合わせて開級式を行った。保護者同士のつながりを大切にでき、保護者に負担をかけない内容が考えてある。

- アイスブレイク ⇒ グループトーク ⇒ 在宅取組 ⇒ アンケート回収 (振り返り)

## 記録カード<※1>

VI-2 チャレンジ心 (幼児期) 資料編

家族みんなが「めあて」を決めてチャレンジしよう!

家族の名前	チャレンジのめあて	シール
例 かずお	いわれるまえにはをみがく	
パロ	話まじりと聞く	
ママ	早く寝に言わない	
おかし	高に仲良くする	
ぼく	お前掛けをちゃんとする	

ぼんのささいなことでも、頑張ってできたときに「喜び」が生まれ、「自信の芽」となります。さらに、ほめて、励まし、「大きな自信」となっていきます。

家族みんながそれぞれめあてをつけて、チャレンジしてはどうかな? できた時はシールを貼るといいぞ。できない日があっても、抱かれてもいいんだよ。できたとき、家族みんなでほめると楽しく頑張れるな。例えば、お父さんは「まじ話を聞く」、お母さんは「早く寝ると言わない」、お姉ちゃんはお前掛けにちゃんとする。ぼくは「自分で服を着る。」などのめあてを決めて、家族みんなでチャレンジできるといいと思うな。

※1(※) キット(別紙)の組み型用紙に記入し、担任の先生へ提出して下さい。

---

VI-2 チャレンジ心 (幼児期) 資料編

家族みんなが「めあて」を決めてチャレンジしよう!

家族の名前	チャレンジのめあて	シール
例 かずお	いわれるまえにはをみがく	
けんじ	毎日野菜を食べる	
ひな	はみがこえる	
けんた	お口のぞろ	
けんしん	毎日体操のびやか	
のの	おひげを剃る	

ぼんのささいなことでも、頑張ってできたときに「喜び」が生まれ、「自信の芽」となります。さらに、ほめて、励まし、「大きな自信」となっていきます。

家族みんながそれぞれめあてをつけて、チャレンジしてはどうかな? できた時はシールを貼るといいぞ。できない日があっても、抱かれてもいいんだよ。できたとき、家族みんなでほめると楽しく頑張れるな。例えば、お父さんは「まじ話を聞く」、お母さんは「早く寝ると言わない」、お姉ちゃんはお前掛けにちゃんとする。ぼくは「自分で服を着る。」などのめあてを決めて、家族みんなでチャレンジできるといいと思うな。

※1(※) キット(別紙)の組み型用紙に記入し、担任の先生へ提出して下さい。

## アンケート用紙 <※2>

### 幼児学級アンケート (在宅取り組み型用)

皆さんのご意見を今後の運営に生かすため、以下のアンケートにご協力をお願いします。

#### 1. 資料について

- ① 内容はいかがでしたか。  
( とても良い ・ 良い ・ あまり良くない ・ 良くない )
- ② より良いものにする為に気が付かれたことがあれば教えてください。

#### 2. 家庭での取り組みについて

- ① 今後も家庭での取り組みを行いたいと思いませんか。  
( ぜひ行っていきたい ・ 行ってよい ・ あまり行いたくない ・ 行いたくない )
- ② ①について、選択された理由を教えてください。

#### 3. お子さんとの関わりについて

- ① 家庭での取り組みを行って、お子さんとの関わりはどうでしたか。  
( 良い関わりを持てた ・ あまり良い関わりを持てなかった ・ 良い関わりを持てなかった )
- ② お子さんの様子はどうでしたか。  
( 積極的に取り組んでいた ・ 仕方なく取り組んでいた ・ 取り組みを嫌がっていた )
- ③ 今回の取り組みによって親子の関わりや、お父さん・あなたの気持ちに何か変化はありましたか。  
( はい ・ いいえ )
- ④ ③「はい」と選択された方、具体的にどんな変化があったのか教えてください。

#### 4. 感想・ご意見・ご要望があればご記入ください。



アンケート用紙は、

1. 資料について
2. 家庭での取組について
3. 子どもとの関わりについて

今回の取組によって親子の関わりや、子ども、保護者の気持ちの変化を問っている。

報告のおたよりでは、めあての紹介とアンケート結果をまとめてある。

最後に今後の学級への参加を呼び掛けている。

## 報告のおたより <※3>

幼児学級生の皆様

平成28年6月吉日

めぐみ保育園幼児学級 学級長

### 幼児学級 在宅型「チャレンジ心」のご報告

学級生の皆さま、幼児学級在宅型の取り組み、アンケートに御協力していただき、ありがとうございました。ご家庭のめあてやアンケート結果をまとめたので、ご報告します。

#### 各家庭での「めあて」



#### アンケート結果

##### ★資料について

- ①内容はいかがでしたか? ②より良いものにする為に気が付かれたことがあれば、教えてください。
- ◎とても良い…1つのテーマについて話をする事が出来たので、いろんな考え方があり、参考にしました。
- ◎良い…子どもだけでなく、家庭で取り組める内容になっていたのが、良かった。  
取り組んだ後にどうだったのか、今後どうしていきたいのか、それぞれの思いを記入する紙や、アドバイス内容があるより良い。

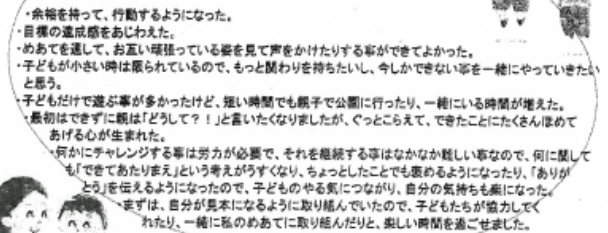
##### ★家庭での取り組みについて

- ①今後も家庭での取り組みを行いたいとおもいますか? ②選択された理由を教えてください。
- ◎是非行っていきたい…  
・コミュニケーションがよくなって、会話が増えた。  
・できたら、この様にシールを貼るのが分かり、楽しそうにしていた。  
・めあてについて、毎日今日どうだったのかと、自分だけでなくお互いに家族の様子を見たり話をする事ができた  
・今回決めためあての内容が、「ちょっと難しかった」と発言があったので、「じゃあ今度はどんなめあてだと良いかな?」と聞く「今度はお母さんと一緒にご飯を作るのをやりたい!」と発言があったので、今後も行っていきたい
- ◎行っても良い…  
・それぞれが、応援する事ができていたから  
・より会話が広がる  
・気をつけて行動する事ができる

#### ★取り組みを行って、お子さんとの関わりについて

- ①家庭での取り組みを行って、お子さんとの関わりはどうでしたか?  
◎提出して下さった皆さんが良い関わりを持てたと答えて下さいました。
- ②お子さんの様子はどうでしたか?  
◎積極的に取り組んでくれた子が多かったようです

- ③今回の取り組みによって親子の関わりや、お父さん、あなたの気持ちに何か変化はありましたか?



簡読式の園長先生のお話で、お母さんのお迎えの時に、子どもが真っ先に今日の出来事の話ができる、素敵なお話の様子のお話があり、私が参加させて頂いた研修のお話で、学習状況調査や子どもの生活に関する委員報告によると、この親子のように「話し合う」という親子や家族の関わりは、子どもの心の安定をうみだし、生活習慣など生きる力を高めたりするそうです。  
「3つ子の魂100まで」「子は親の鏡」という言葉があるように子どもにとっての環境や教育は、やはり親の影響が大きいです。その環境づくりをする親がコミュニケーションの大切さを知っているのか、知らない事を知らないままであるのか…また伝えるようになるのか、行動できないでいるのか…今回の取り組みで、その壁を破っていたのは自分自身であることに気づきかけ作りになりました。

幼児学級は、保護者が、子どもに基本的な生活習慣や社会のルールなどを自主的に教える事ができるように先生や地域の方々の協力を得て、学級生同士が協力して学ぶ場です。  
御都合がつか方は、是非参加して下さいね。

簡読式に参加されて、まだ取り組んでない方は是非取り組んでみてください。提出は随時受け付けておりますので、提出を宜しくお願いします。  
また、取り組みが難しい方は、裏面のアンケート欄①-②を記入して提出を宜しくお願いします。  
今後の参加のためにも、取り組みが難しかった理由や気づかれた事などの記入を宜しくお願いします。